

プライマーSD-3

作成日2010年03月15日
改訂日2022年05月16日**国／地域情報：****GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性****15.適用法令に記載****帯電性の可燃性液****3. 組成、成分情報****物質****单一・混合物の区分：****一般名：****混合物****プライマー****危険有害成分：**

化学名	CAS番号	官報公示整理番号(化審法・安衛法)	含有量(%)	化学物質管理促進法(PRTR法)
ヘキサン	110-54-3	2-6	88	第1種 No.392
イソプロピルアルコール	67-63-0	2-207	1-10	対象外
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)-1,2-エタンジアミン	1760-24-3	2-2059, 2-2083	1-2.5	対象外
テトラ n-ブチルチタネート	5593-70-4	2-2150; 2-228; 7-356	1-3	対象外
キシレン	1330-20-7	3-3	0.25-1.0	含有量から対象外
3-メチルペンタン	96-14-0	2-6	0.25-1.0	含有量から対象外
2-メチルペンタン	107-83-5	2-6	0.25-1.0	含有量から対象外
エチルベンゼン	100-41-4	3-28	0.1-0.25	含有量から対象外

4. 応急措置**吸入した場合：**新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師を呼ぶこと。**皮膚に付着した場合：**直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。
水又は適温の流水で洗浄した後、石鹼を用いてよく洗い落とす。

気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

脱いた衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求めるこ。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

水で口の中をよくすすいた後、大量の水で吐き出させ、直ちに医師の診断を受けること。

ただし意識の無い場合には、口から何も与えてはいけない。

また嘔吐が自然に起こった時は嘔吐物が気管に入らないよう身体を斜めにする。

目に入った場合：

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

飲み込んだ場合：

水で口の中をよくすすいた後、大量の水で吐き出させ、直ちに医師の診断を受けること。

ただし意識の無い場合には、口から何も与えてはいけない。

また嘔吐が自然に起こった時は嘔吐物が気管に入らないよう身体を斜めにする。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

知見なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

知見なし

医師に対する特別な注意事項

知見なし

5. 火災時の措置**消火剤：**

小火災:粉末、二酸化炭素、泡

大火災:粉末、二酸化炭素、泡

使ってはならない消火剤：

水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

特有の危険有害性：

火災によって刺激性、毒性及び/又は腐食性のガスを発生する恐れがある。

極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

加熱により容器が爆発する恐れがある。

引火性の高い液体及び蒸気

特有の消火方法：

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置を取る。

大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

引火点が極めて低い、または消火の効果がない恐れがある場合は、容器または周囲に散水して冷却する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護：

消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な化学用保護衣を着用する

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：**

作業者は適切な保護具(8.曝露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

風上に留まる。

低地から離れる。

密閉された場所に入る前に換気する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。

回収、中和：

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理す

少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。

大量的場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

大量的場合、散水は、蒸気濃度を低下させる:しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ない恐れがあ

プライマーSD-3

作成日2010年03月15日
改訂日2022年05月16日

封じ込め及び浄化方法と機材:	危険でなければ漏れを止める。 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
二次災害の防止策:	蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策:**

保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用すること。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。一禁煙。
防爆型の電気、換気、照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設ける。
この物質を貯蔵しない取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをしてはならない。
静電気対策を行う。作業着、作業靴は導電性のものを用いる。
取扱い作業場の電気設備は、防爆構造とし、機器類は接地する。
蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設ける。
接触、吸入または飲み込んではならない。
取扱い後はよく手を洗うこと。
蒸気を吸入しないこと。

保管**技術的対策:**

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。
容器を密閉して換気の良いところで貯蔵すること。
冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。
酸化剤から離して保管する。
容器は直射日光や火気を避けること。
指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。
施錠して貯蔵すること。

容器包装材料:

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置**管理濃度、許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標):**

成分名	ヘキサン	イソプロピルアルコール	キシレン	ヘキサン	エチルベンゼン
管理濃度	40ppm	200ppm	50ppm	40ppm	20ppm
許容濃度: 産衛学会	40ppm	400ppm	50ppm	40ppm	20ppm
ACGIH TLV-TWA	50ppm	200ppm	100ppm	50ppm	20ppm

設備対策:

防爆型の電気、換気、照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設ける。
この物質を貯蔵しない取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具**呼吸器の保護具:**

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具:

保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具:

眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具:

保護手袋および眼、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質**物理的状態:**

液体

色:

無色透明

臭い:

溶剤臭

融点／凝固点:

データなし

沸点、初留点および沸騰範囲

68.7°C

可燃性:

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

データなし

引火点:

-22°C(タグ密閉式)

自然発火点:

データなし

分解温度:

データなし

pH:

データなし

動粘性率

データなし

溶解度:

データなし

n-オクタノール／水分配係数:(Log値)

データなし

蒸気圧:

データなし

密度又は相対密度:

データなし

相対ガス密度:

データなし

粒子特性:

データなし

その他のデータ

データなし

10. 安定性及び反応性**安定性:**

常温では安定。

危険有害反応性可能性:

水と反応する。

避けるべき条件:

水や湿気を含んだ空気によって、危険な蒸気が発生する可能性がある。強酸化剤と反応する場合がある。

混触危険物質:

データなし

危険有害な分解生成物(一酸化炭素、酸化炭素類、微量の不完全燃焼した炭素化合物。ホルムアルデヒド。二酸化ケイ素。金属酸化物。窒素酸化物。二酸化炭素、水以外):

プライマーSD-3

作成日2010年03月15日
改訂日2022年05月16日**11. 有害性情報****急性毒性:**

	経口	経皮	吸入(ガス)	吸入(蒸気)	吸入(ミスト)
キシレン	区分5 (LD ₅₀ =3500mg/kg)	区分5 (LD ₅₀ >2000mg/kg)	分類対象外	区分外	分類できない
エチルベンゼン	区分5 (LD ₅₀ =3500mg/kg)	区分外 (LD ₅₀ =15500mg/kg)	分類対象外	区分4 (LD ₅₀ =17.2mg/L)	分類できない
イソプロピルアルコール	区分5 (LD ₅₀ =5280mg/kg)	区分外 (LD ₅₀ =12870mg/kg)	分類対象外	区分外	分類できない
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)-1,2-エタンジアミン	区分5 (LD ₅₀ =2,295mg/kg)	区分5 (LD ₅₀ >2000mg/kg)	分類対象外	区分4 1.49 - 2.44 mg/l	分類できない
ヘキサン	区分外	分類できない	分類対象外	区分外	分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性: 各成分の含有量から、区分2に分類される。**皮膚感作性:** 各成分の含有量から、区分1に分類される。**生殖毒性:** キシレンの含有量から、区分2に分類される。**特定標的臓器・全身毒性一単回暴露:**

各成分の含有量から、区分3に分類される。

呼吸器への刺激のおそれ 眼気又はめまいのおそれ

特定標的臓器・全身毒性一反復暴露:

各成分の含有量から、区分2に分類される。

誤えん有害性:

ノルマルヘキサンの含有量から、区分1に分類される。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性): 各成分の含有量から、区分2に分類される。

残留性・蓄積性

データなし

生態蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データなし

13. 廃棄上の注意**残余廃棄物:**

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装:

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意**国際規則**

国連番号	1993
国連輸送名	その他の引火性液
国連分類	クラス3
容器等級	II
緊急時応急指針番号	128
海洋汚染物質(該非)	データなし
MARPOL73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送	
される液体物質(該当・非該当)	データなし

国内規制

陸上輸送: 消防法に定められている輸送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

危険物は当該危険物が転落し、または危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もししくは破損しないように積載すること。

危険物または危険物を収納した容器が著しく摩擦または動搖を起こさないように運搬すること。

危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生する恐れがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、よりの消防機関その他の関係機関に通報すること。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

重量物を上積みしない。

15. 適用法令**労働安全衛生法通知対象物質:**

施工令 別表第一 危険物(第一条、第六条、第九条)

有機溶剤中毒予防規則(有規則)

特定化学物質予防規則(特化則)

名称等を通知すべき、およびリスクアセスメントが必要な危険物及び有害物(57条の2、3):

名称等を表示すべき危険物及び有害物(57条):

引火性の物

第二種有機溶剤等

該当なし

プロピルアルコール、キシレン、エチルベンゼン、ヘキサン

プロピルアルコール、キシレン、エチルベンゼン、ヘキサン

プライマーSD-3

作成日2010年03月15日
改訂日2022年05月16日

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(通称 PRTR法):

第1種指定化学物質(No.392) ノルマルヘキサン 88%

消防法:

第4類 第1石油類 非水溶性液体

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準:(日本シーリング材工業会)ホルムアルデヒド汚染対策のための自主管理規定

プライマーSD-3: JSIA-004055 F☆☆☆☆

参考文献

- 1) 化学物質の危険・有害性便覧(中央災害防止協会)
- 2) 有機溶剤作業主任者テキスト(中央災害防止協会)
- 3) 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
- 4) ACGIH(日本作業環境測定学会)

この安全データシートに記載の内容は、最善の調査に基づき現時点で入手できた情報により作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関するいかなる保証をするものではありません。本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施のうえご利用下さい。尚、法改正や新しい知見、製品の改良等に伴い、予告なく安全データシートを改訂する場合があります。